

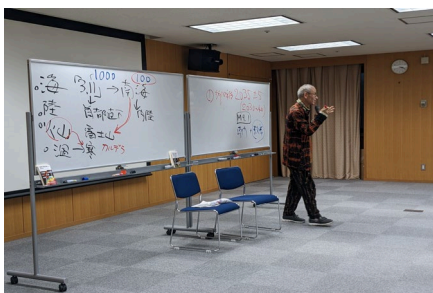
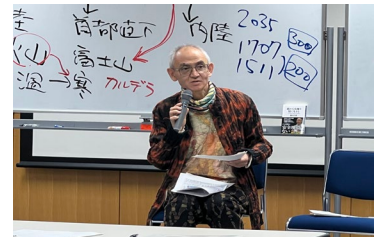


2022年11月15日
日本地震再保険株式会社

京都大学鎌田名誉教授による社内講演会の開催について (トーア再保険株式会社と合同開催)

日本地震再保険株式会社(取締役社長 伊東正仁)は、11月8日、京都大学の鎌田浩毅名誉教授・京都大学レジリエンス実践ユニット特任教授を招聘し、トーア再保険株式会社(取締役社長 松永祐明)と合同で社内講演会を開催しました。

『南海トラフ地震・富士山噴火・首都直下地震の科学的予測及びリスク軽減の保険戦略』をテーマに、最先端の地球科学に基づく災害予測を示し、どうやって命を守るのか、何を準備すべきかなど、リスク軽減のための保険戦略について分かりやすくお話しいただきました。



同氏はテレビや新聞などで科学を明快に解説する「科学の伝道師」と呼ばれ、南海トラフ巨大地震は2035年を中心にプラスマイナス5年の範囲で起こる可能性が高く東日本大震災の10倍もの経済被害をもたらすことや、富士山は現在「噴火スタンバイ状態」にあり南海トラフ巨大地震によって噴火が誘発される可能性が高いことなどが紹介されました。

当日は、別会場や自宅からのリモートも含め多数の両社社員が参加し、活発な質疑応答が行われました。参加者からは「今後30年以内の発生確率が70~80%と言われるよりも、2035年±5年と言われた方が、いつまでに、どこまで備えたらよいのか考えやすい」といった声が聞かれ、来る巨大地震に備えBCMの強化をさらに進めることの重要性を再認識しました。



<お問合せ先>

日本地震再保険株式会社

管理・企画部(企画・広報) おぶせ 小布施 正紀

(電話) 03-3664-6078 (FAX) 03-3664-6169 (Eメール) m-obuse@nihonjishin.co.jp

(URL) <https://www.nihonjishin.co.jp/>

当社では、地震保険の付帯率向上や防災・減災を推進する活動を通じて、国連サミットで採択されたSDGs(Sustainable Development Goals)の達成に向けた取り組みを進めています。

